栄和松南株式会社

2020　年度　環境経営レポート

（対象期間：　2020 年6月1日～　2021 年5月31日）

作成日：　2021年7月10日

環境経営方針

＜環境経営理念＞

　栄和松南株式会社は、本業である廃棄物の収集運搬・リサイクル・リユース等の環境事業に関わるサービスをお客様に提供する企業として地球温暖化問題への取り組み、地球環境保全と事業活動の両立を基本理念とし、地球環境への負荷を最小限にするための継続的な取り組みを通じて社会及び将来の世代に対する貢献に努めます。
　安全で安心していただけるサービスを効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

1．　当社の事業活動が環境に与える影響を把握し、その影響の適切な増減により汚染予防・環境保全に寄与できるよう努めます。

2．　環境目的・目標は制定した環境管理システムにより実行し、計画活動中に適時見直しを行い、継続的改善を図ります。

3．　環境関連の法律・規制等要求事項及びその他の要求事項を順守します。

4．　自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。

5．　省エネルギー、省資源によりCO2削減、資源の有効活用、汚染予防に向け最善を尽くします。

6．　本方針は全従業員に周知させ、全従業員が環境保全に対する認識の向上を図り、事業活動に反映できるよう啓発、教育します。

7．　地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2019年6月1日

栄和松南株式会社
代表取締役　中野　貴司

□組織の概要　　更新日： 2021年7月10日

（1） 名称及び代表者名
栄和松南株式会社
代表取締役　中野　貴司

（2） 所在地
本　　社　　奈良県香芝市白鳳台2丁目26番地12（登記上）
大阪営業所　　大阪府大阪市生野区巽南二丁目11番19号

（3） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　中野　貴司　　TEL：06－4306－5678
担当者　　総務部　　中野　乃加　　TEL：06－4306－5678

（4） 事業内容
一般・産業廃棄物の収集運搬業

（5） 事業の規模
法人設立　　平成25年6月21日
資本金　　1,000 万円
売上高　　5,747 万円　（2019年度）

	本社	大阪営業所
従業員	―	6 名
延べ床面積	―	46 ㎡

受託した廃棄物の処理量（2019年度）

収集運搬量（一般廃棄物）	927 t		
収集運搬量（産業廃棄物）	117 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備　　考
3.5ｔパッカー車	2 台	内ハイブリット車1台
3ｔロータリー車	1 台	
2ｔダンプ車	1 台	
1ｔダンプ車	1 台	
乗用車	1 台	
合計	6 台	

主要設備

名称	台数	備考
無し	基	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
無し	㎡	m	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：
対象事業所：　　大阪営業所
活動：　　一般・産業廃棄物の収集運搬業

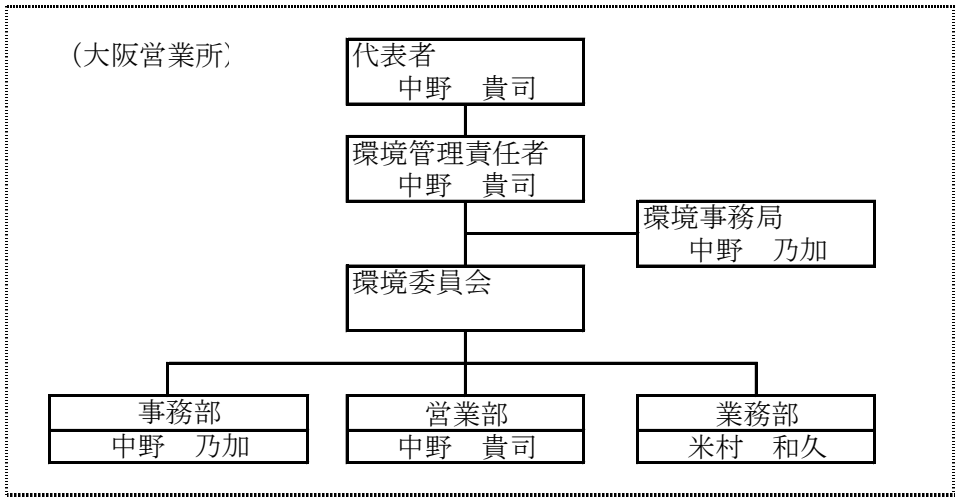
□事業の紹介

栄和松南株式会社は、昭和44年の創業以来、大阪市を中心にごみ・廃棄物の処理、不用品の回収、リサイクルなどを通じて環境保全に取り組んでまいりました。法令を遵守するとともに環境負荷の低減を目指しながら事業経営に取り組んでいます。これからもより良い循環型社会を実現すべく、努力してまいります。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2021年7月10日

（認証登録範囲）



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

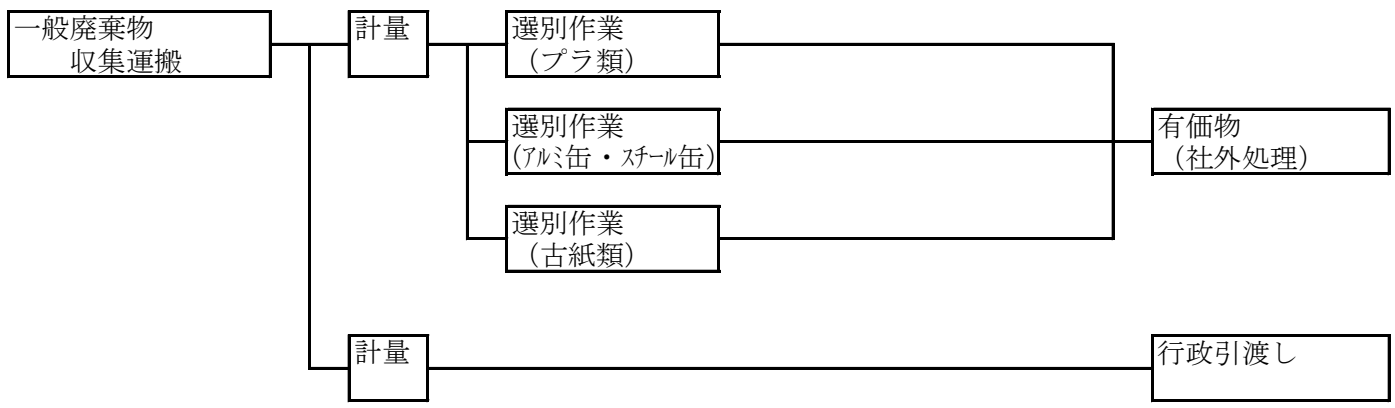
一般廃棄物収集運搬業許可の内容

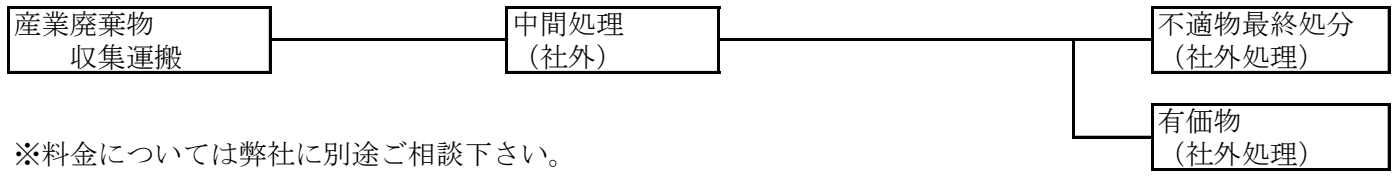
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備　　考
大阪市	第030-087号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類															優良産廃処理業者認定
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	鉱さい		
大阪府	第02700173639号	平成30年10月17日	令和9年11月16日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	
奈良県	第02902173639号	平成30年10月8日	令和5年10月7日	無					●	●	●	●		●	●	●	●			
兵庫県	第02803173639号	令和2年9月17日	令和7年9月16日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

□廃棄物処理フロー





※料金については弊社に別途ご相談下さい。

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	52,064	56,857	75,442
受託収集運搬量	トン	658	1,044	1,126
廃棄物排出量（自社	kg	188	201	5,154
一般廃棄物排出量	kg	188	201	205
産業廃棄物排出量	kg	0	0	4,949

※二酸化炭素排出係数　　0.418　kg-CO2/kWh　　電力会社の調整後の係数
※負荷記録表のデータ収集は2018年から開始

□環境経営目標及びその実績

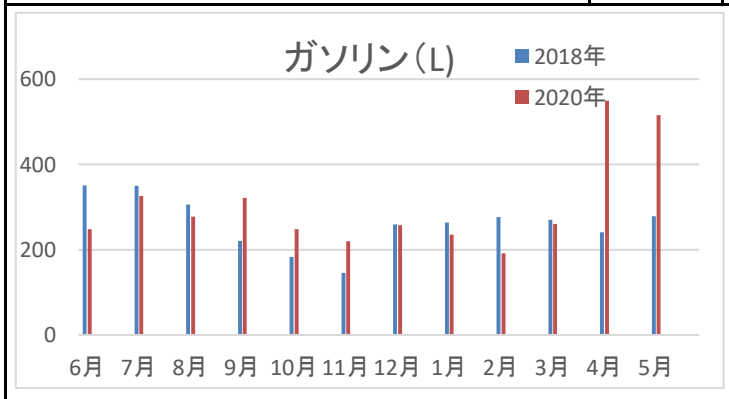
項目＼年度		基準値	2020年		評価	2021年	2022年
		（基準年）	（実績）			（実績）	（実績）
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	52,064	75,442		―	―	―
	基準年度比	2018年	―		―	―	―
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	52,064	75,442				
項目＼年度		基準値	2020年		評価	2021年	2022年
		（基準年）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
ガソリン	km/kg-CO2	4.671	4.695	4.564	×	4.718	4.742
	基準年度比	2019年	100.5%	97.7%		101.0%	101.5%
軽油	km/kg-CO2	1.528	1.536	1.522	×	1.543	1.551
	基準年度比	2019年	100.5%	99.6%		101.0%	101.5%
天然ガス	km/kg-CO2	0.964	0.969	0.784	×	0.974	0.979
	基準年度比	2019年	100.5%	81.3%		101.0%	101.5%
一般廃棄物の削減(自社分)	kg	184	182	182	○	180	179
	基準年度比	2018年	99.0%	99.0%		98.0%	97.0%
環境に配慮した収集運搬	（取組実施内容） ・作業開始前の車両点検　・エコドライブの推進　・回収忘れをしない　・車両の清掃 ・積込時に騒音を立てない・車両火災、廃棄物の流出飛散対応訓練実施						

※建物内に2社が入居しており、各社各々の電気・水道使用量を把握することが困難なため、目標設定をしていません。数値目標は設定していませんが、取組計画（不要照明の消灯・雨水の有効活用等）を定めて活動しています。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成　×未達成

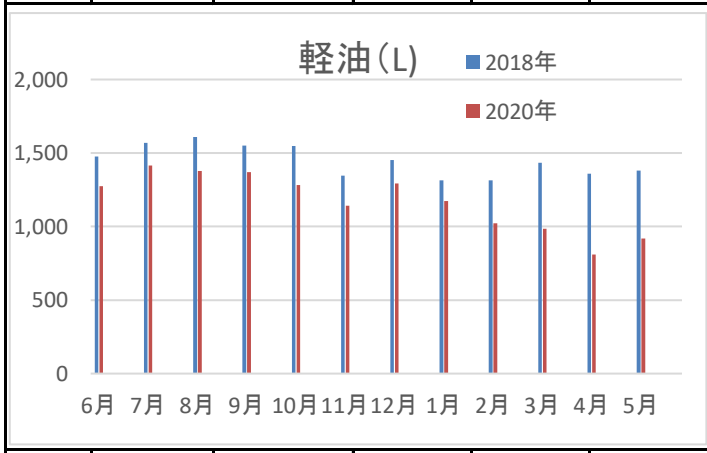
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	ｶﾞｿﾘﾝ97.7%　× 軽油99.6%　× 天然ｶﾞｽ81.3%×	エコドライブやアイドリングストップは励行しているが、目標は達成できなかった。2021年6月に天然ガスロータリー車にもデジタルタコグラフの導入予定で、より一層のエコドライブを推進したい。達成率については、ガソリン車で97%、軽油で99%、天然ガス車で　80%となった。ガソリン車については営業業務での短距離での移動が多かったこと、天然ガス車ではダンプ車での短距離での移動が多かったことと燃費性能が不利なロータリー車での収集が多かったことが　原因と思われる。今後は、タイヤ空気圧点検やアイドリングストップ・エコドライブの推進を徹底していく。
・アイドリングストップ等のエコドライブの実施	○	
・作業時間や待機時間、走行距離の短縮を考慮した効率的なルート設定	○	
・デジタルタコグラフ・ドライブレコーダーによる運転チェック	○	



取組紹介欄

環境にやさしいアイドリングストップ機能を搭載した車両を導入している。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2018年	350	350	306	221	183	145	259	264	276	270	241	279
2020年	249	326	278	322	248	220	258	235	192	260	550	516

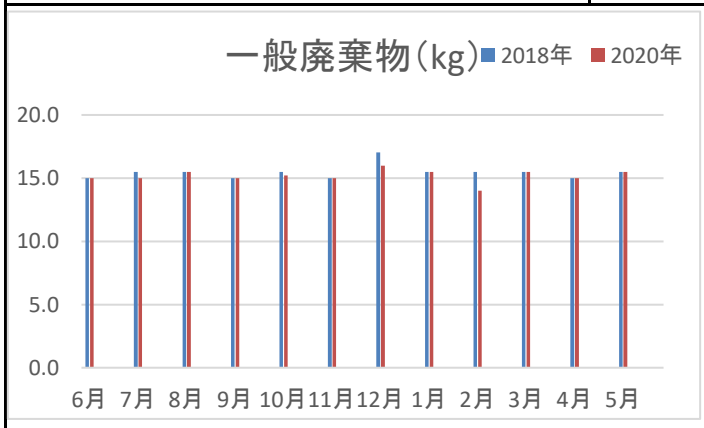


取組紹介欄

（ハイブリッドパッカー車の導入）
環境性能に優れたハイブリット車を積極的に導入している。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2018年	1,476	1,569	1,608	1,550	1,547	1,345	1,453	1,313	1,314	1,435	1,360	1,381
2020年	1,273	1,414	1,378	1,370	1,282	1,142	1,292	1,173	1,023	986	811	919

一般廃棄物の削減(自社分)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	裏紙の使用や、分別の徹底を行い、廃棄物の削減を行うことができた。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・リサイクルトナーカートリッジの使用	○	
・梱包材の再利用	○	



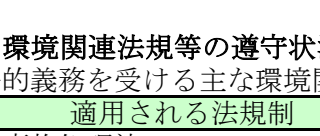
取組紹介欄

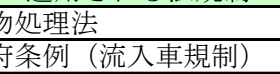
紙は種類や使われる用途によって原料が違ってくることから、古紙を原料として利用する場合も出来るだけ品質が均一であることが求められる。そのためには古紙を出す段階で種類ごとに分別することが、効率的なリサイクルを推進する第一歩となる。様々な種類の紙が混ざっていても再生できるが、古紙そのものの品質低下や製紙工程での原料管理が難しくなることから、用途が限られてくる。分別を徹底することは、資源としての価値を高めることになる。また、古紙を出す段階で紙以外のものを取り除くことは勿論、紙類でも再生する際に障害となるものは（禁忌品）取り除く必要がある。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2018年	15.0	15.5	15.5	15.0	15.5	15.0	17.1	15.5	15.5	15.5	15.0	15.5
2020年	15.0	15.0	15.5	15.0	15.2	15.0	16.0	15.5	14.0	15.5	15.0	15.5

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検	○	車両のメンテナンスを確実に行い、突発的な故障を防ぐことができた。 エコドライブの推進も出来た。収集忘れもなく、分別収集協力の啓発ポスターを顧客のゴミ庫に貼るなど、清潔感をUPさせる意識を高めて収集した。
・エコドライブの推進（燃料使用量は別項目で実施）	○	
・回収忘れをしない	○	
・車両の清掃	○	

取組紹介欄





エコドライブを実践することで、これらの排出ガスを減少させ「地球環境の保全」につながります。やさしい発進を心掛けたり、無駄なアイドリングを止める等をして燃料の節約に努め、球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素（ＣＯ２）の排出量を減らすよう心がけています。
収集運搬車両にはデジタルタコグラフをつけることにより、車両の運行状況を把握し、適切にアドバイスすることで、省燃費運転、安全運転、効率的な運行管理に貢献し、燃料消費量、排出ガス量を管理することで環境負荷軽減にも貢献しています。
運転する際にはエコドライブを実践するよう従業員に研修を実施するなど会社全体で取り組みエコドライブの普及・啓発活動に取り組んでいきたいと思います。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
家電リサイクル法	リサイクル家電の適切な取り扱い
労働安全衛生法	労働者の安全と健康の確保
道路運送車両法	車両の確実な日常点検
大阪府・大阪市環境基本条例	環境の負荷の低減および環境の保全に資するために必要な策を講じる
顧客要求事項	特になし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反・訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□一般教育

緊急事態の想定：交通事故	
■実施日：　2021/5/27	■実施場所：　大阪市清掃連合協同組合
■参加者：　中野　貴司、中野　乃加、畑山　佳祐	■実施内容：　安全運転講習
■評価：	手順書の変更の必要性☐ あり　☑ なし

交通事故は、いつ、いかなる場面で起こるか、予測することは困難である。しかし、未然に対策を立てておくことで、そのリスクはある程度、低減できる。過去に起こった事故の事例を参考に「安全運転・安全作業」について再度確認し、より確実な安全確認が必要であることを再認識した。
私たち社員に必要なのは、その対策を怠らないことと、それぞれが当事者意識を持つことである。
このような研修を繰り返し、全社員へ事故に対する意識を高めていきたいと思う。
研修内容については、一度に伝えきれるものではないため、数回に分けてまた何度も繰り返し伝えていきたいと思う。

■実施状況の様子
過去に実際に起こった事例を見ながら、あらためて「安全運転・安全作業」について確認を行った。

□緊急事態対応訓練

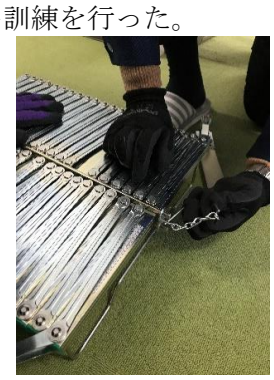
緊急事態の想定：　産業廃棄物の流出	
■実施日：　2020/9/15	■実施場所　大阪営業所・ヤード
■参加者：　中野　貴司、中野　乃加、米村　和久 森川　裕太	■実施内容：　流出事故対応
■評価：	手順書の変更の必要性☐ あり　☑ なし

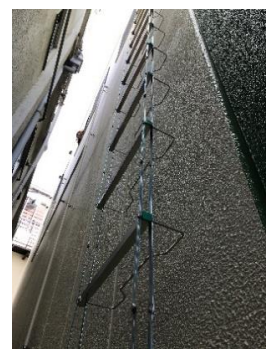
ヤード内で産業廃棄物の流出についての訓練を行ったが、拭き取るためのウエスの準備・在庫確認の確認が大事であると感じた。訓練は有効であった。

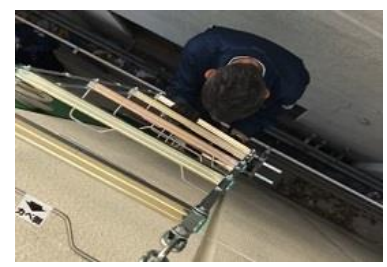
緊急事態の想定：　火災の発生	
■実施日：　2021/2/8	■実施場所　㈱松南サービス社屋
■参加者：　中野　貴司、中野　乃加、米村　和久 森川　裕太	■実施内容：　避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要性☐ あり　☑ なし

事務所で火災が起こった際、玄関からの脱出ができないと想定して避難はしごを使用しての脱出訓練を行った。実際に、脱出に使用する窓に合わせた、はしごの前準備（はしごの幅合わせ等）などが確認でき、守るべきルール（スリッパなどは脱ぐ、降りる際は腕はなるべく伸ばさず、胸に近づけるなど）の知識も習得できた。使用手順の確認が大事であると感じた。訓練は有効であった。

■実施状況の様子
事務所で火災が起こり、玄関・シャッターからの脱出ができないと想定し訓練を行った。手順書の確認と避難はしごを使っての脱出訓練を行った。







□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2021年7月10日

2019年6月より環境経営方針を策定し、エコアクション２１の認証取得活動を行ってきた。目標に関しては、自動車使用による二酸化炭素排出の削減の数値目標が未達成であった。2020年度の目標設定は、燃費を盛り込んだ数値で新たに設定した。

二酸化炭素排出係数の観点からは不利であるが、窒素酸化物を殆ど排出しないなど環境保護にメリットのある天然ガス車両の使用が増えたため、天然ガス車両における目標と実績の乖離が大きかった。引き続き、エコドライブを実践し、二酸化炭素の削減に取り組んでいく。

維持目標項目や教育訓練・避難訓練についても適切に行われ、実施体制に問題はない。2021年度は目標を達成できるよう努力したい。

新型コロナウィルスの感染防止に関しても、マスクの着用・無用な外出の防止・うがい手洗いの励行・収集車両室内の消毒清掃の実施・ごみ袋の口を結ぶなどごみの排出に関する協力要請を行い、感染を防止し感染者も発生しなかった。インフラ産業であるため、今後も感染予防を徹底し収集を滞りなく行うよう体制を整えたい。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

【周辺清掃】

弊社では環境負荷の低減に向けた取り組みとして、ごみの分別、段ボールの再利用、社内照明のLED化などを行っております。そういった取り組みのひとつとして、定期的に社屋周辺のゴミ拾いを実施しています。

また、この地域で企業活動が行うことができるのは、地域住民の皆様のご理解とご協力のお蔭だと日々感じています。弊社は、何か少しでも役に立ちたいと思い、定期的に会社周辺のゴミ拾いを実施しております。

【ライフキャップ運動】

Heart of Osaka
大阪の街をよくする基金 ライフキャップ運動

栄和松南株式会社が所属する一般社団法人　大阪市一般廃棄物適正処理協会が運営しているライフキャップ運動に参加しています。 ボトルキャップを回収し、リサイクルで得た収益を「大阪の街をよくする基金」として、環境・教育・医療などの分野に役立てていきます。ライフキャップ運動に賛同いただける企業・個人の方を募集しています。